

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

（１）アンケートの概要

福島市地域福祉計画2021策定に向け、地区懇談会のほか、地域やその地域に居住する住民の生活課題を的確に把握し、地域ごとの多様なニーズを計画に反映するため、市民アンケートや次世代向けアンケートを実施しました。

①市民アンケートの概要

- ・対象者数
市内在住者2,500人（地区、年齢別按分で対象者抽出）
- ・実施期間
令和元年10月18日～11月8日
- ・回答者数
1,108人（回答率 44.32%）

②次世代向けアンケート

- ・対象者数150人（福島大学、福島学院大学、桜の聖母短期大学の生徒）
- ・回答者数
福島大学 46人 福島学院大学 20人 桜の聖母短期大学 44人
合計110人

（２）市民アンケートの結果概要

市民アンケートでの主なご意見や今後の課題は、次の通りです。

①「地域における支え合いの促進」に関するご意見

- ・ひとり暮らし世帯（認知症高齢者も含む）への施策の充実
- ・「互いに助け合える」ご近所づきあいをつくるのが大切
- ・祭りや運動会などの地域イベントの開催により、地域活動を活性化することが大切
- ・災害時の対応に関して、官民連携での取組みを充実することが大切
加えて、東日本大震災・福島原子力発電所の事故の経験を風化させないことも大切
- ・個々人の心身ともに健康であることが基本であることから、現在、取り組んでいる「健都ふくしま創造事業」に取り組むことが大切 など

②「誰にでもやさしいまちづくりの推進」に関するご意見

- ・学校などとの連携を含め、「心のバリアフリー」に関する事業の充実
- ・高齢者（ひとり暮らしや認知症高齢者を含む）の見守り体制の充実
- ・地域の交通手段の確保 など

③「包括的な相談体制とサービス提供体制の構築」に関するご意見

- ・支所や地域包括支援センターなどとの連携によるスムーズな相談体制の構築
- ・「相談できる人がいない方」への支援の充実
- ・市政だよりや回覧板による広報に加え、SNSなどを活用した情報発信の充実
- ・福島市社会福祉協議会やNPO法人との連携の充実 など

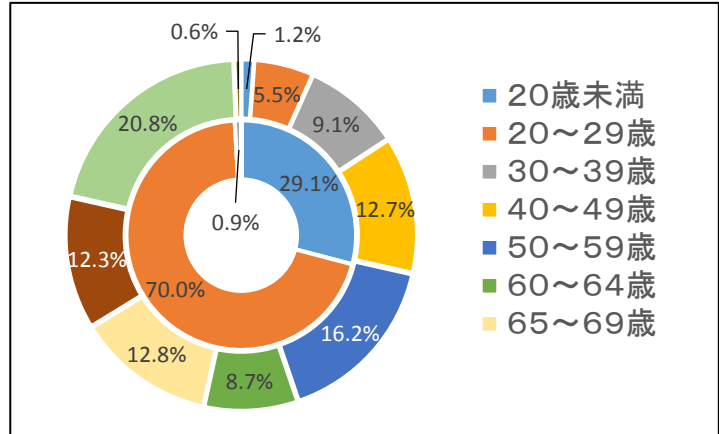
(3) アンケート内容

アンケートの内容は下記のとおりです。

円グラフの内側は次世代向け、外側は全世代向けのアンケート結果になります。

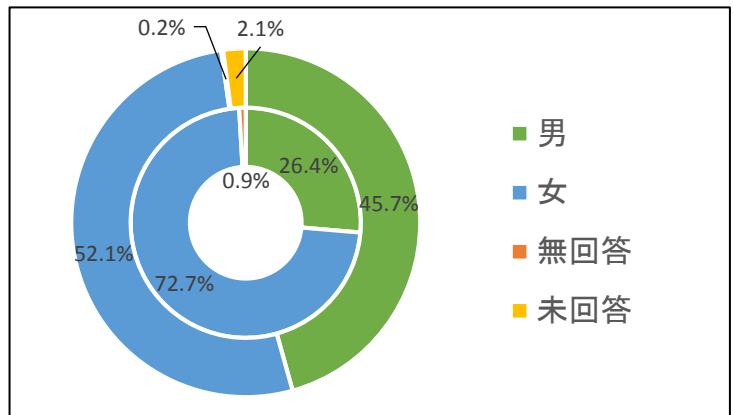
①年齢を教えてください。

	次世代	全階層
20歳未満	32	13
20～29歳	77	61
30～39歳	1	101
40～49歳	0	141
50～59歳	0	180
60～64歳	0	96
65～69歳	0	142
70～74歳	0	136
75歳以上	0	231
未回答	0	7
合計	110	1,108



②性別を教えてください。

	次世代	全階層
男	29	506
女	80	577
無回答	1	2
未回答	0	23
合計	110	1,108



③お住まいの地区を教えてください。

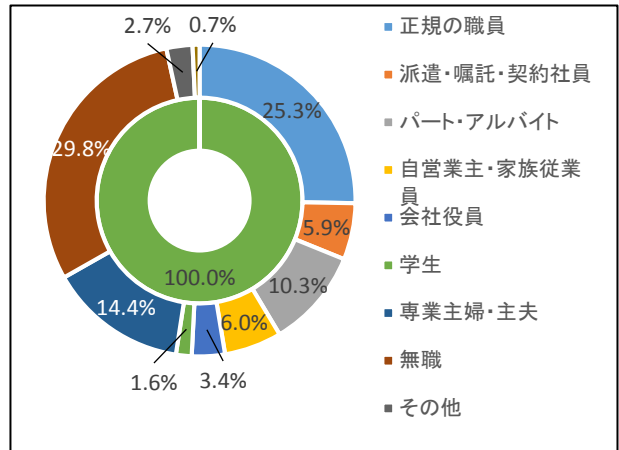
	回答者	地区別対象者	地区別回答率(%)
中央地区（旧市内）	146	328	44.5
渡利地区	67	138	48.6
杉妻地区	42	116	36.2
蓬萊地区	49	107	45.8
清水地区	113	287	39.4
東部・大波地区	56	111	50.5
北信地区	121	271	44.6
吉井田地区	51	116	44.0
西・土湯地区	35	85	41.2
信陵地区	75	130	57.7
立子山地区	9	28	32.1
飯坂・茂庭地区	73	185	39.5
松川地区	60	130	46.2
信夫地区	81	200	40.5
吾妻地区	77	203	37.9
飯野地区	35	65	53.8
未回答	18		
合計	1,108	2,500	

資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

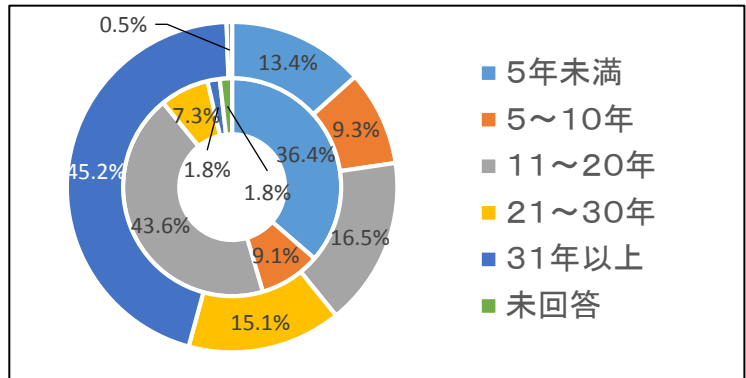
④職業を教えてください。（○は1つだけ）
※複数該当する方は、主に就業している職業のみ

	次世代	全階層
正規の職員	0	280
派遣・嘱託・契約社員	0	65
パート・アルバイト	0	114
自営業主・家族従業員	0	66
会社役員	0	38
学生	110	18
専業主婦・主夫	0	159
無職	0	330
その他	0	30
未回答	0	8
合計	110	1,108



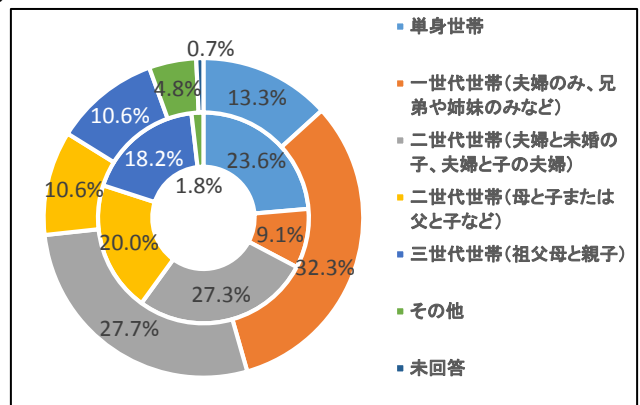
⑤現在、お住まいの地区には何年住んでいますか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
5年未満	40	148
5～10年	10	103
11～20年	48	183
21～30年	8	167
31年以上	2	501
未回答	2	6
合計	110	1,108



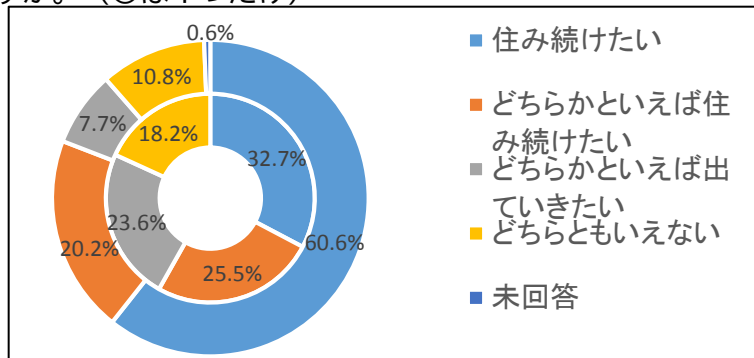
⑥世帯構成を教えてください。（○は1つだけ）

	次世代	全域
単身世帯	26	147
一世代世帯（夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど）	10	358
二世代会帯（夫婦と未婚の子、夫婦と子の夫婦）	30	307
二世代会帯（母と子または父と子など）	22	117
三世代会帯（祖父母と親子）	20	118
その他	2	53
未回答	0	8
合計	110	1,108



⑦今後も現在の地区に住み続けたいですか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
住み続けたい	36	672
どちらかといえば住み続けたい	28	224
どちらかといえば出ていきたい	26	85
どちらともいえない	20	120
未回答	0	7
合計	110	1,108

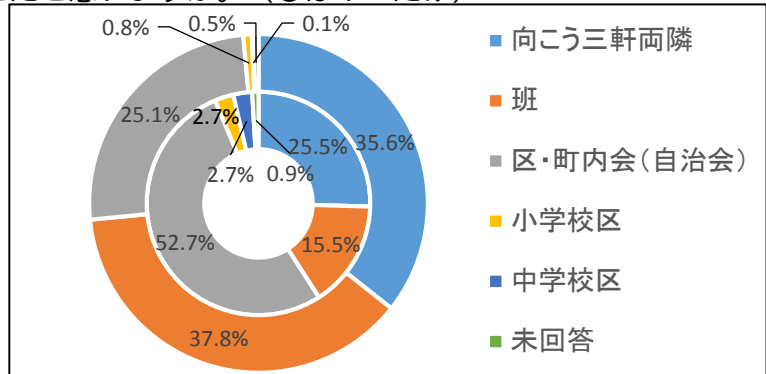


資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

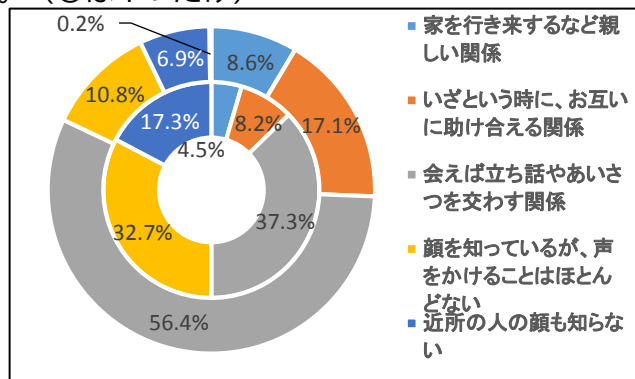
⑧「近所」とはどのような範囲のことだと思いますか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
向こう三軒両隣	28	395
班	17	419
区・町内会（自治会）	58	278
小学校区	3	9
中学校区	3	1
未回答	1	6
合計	110	1,108



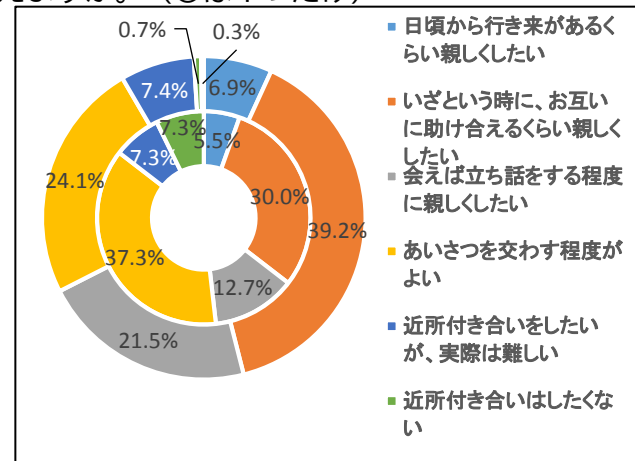
⑨近所の人とどの程度お付き合いがありますか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
家を行き来するなど親しい関係	5	95
いざという時に、お互いに助け合える関係	9	189
会えば立ち話やあいさつを交わす関係	41	625
顔を知っているが、声をかけることはほとんどない	36	120
近所の人顔も知らない	19	77
未回答	0	2
合計	110	1,108



⑩今後の近所付き合いについて、どのように考えますか。（○は1つだけ）

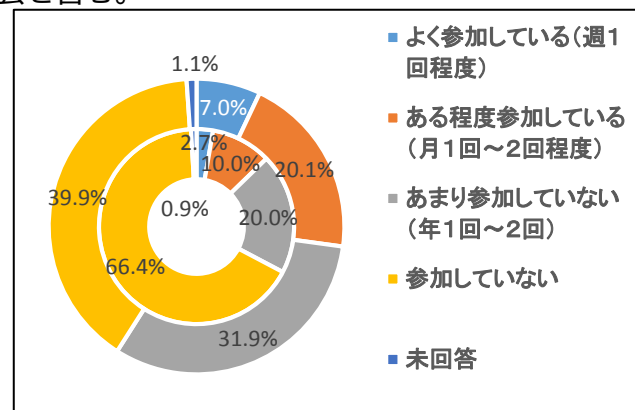
	次世代	全域
日頃から行き来があるくらい親しくしたい	6	76
いざという時に、お互いに助け合えるくらい親しくしたい	33	434
会えば立ち話をする程度に親しくしたい	14	238
あいさつを交わす程度がよい	41	267
近所付き合いをしたいが、実際は難しい	8	82
近所付き合いはしたくない	8	8
未回答	0	3
合計	110	1108



⑪現在、地域活動にどの程度参加していますか。（○は1つだけ）

※地域の方とふれ合う機会：サロンや趣味等の会を含む。

	次世代	全域
よく参加している（週1回程度）	3	78
ある程度参加している（月1回～2回程度）	11	223
あまり参加していない（年1回～2回）	22	353
参加していない	73	442
未回答	1	12
合計	110	1108

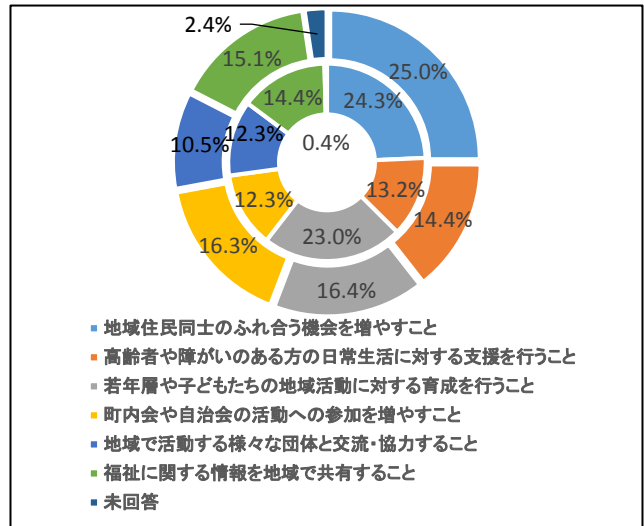


資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

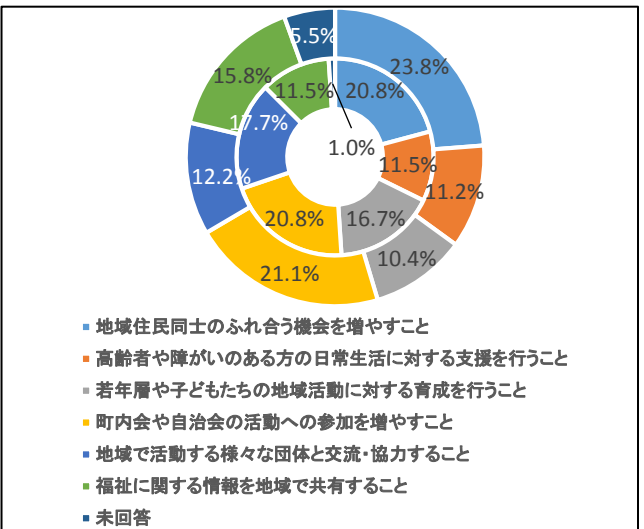
⑫地域住民同士が協力しながら地域づくりを進めるために、どのような取組みが必要 だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	次世代	全域
地域住民同士のふれ合う機会を増やすこと	59	550
高齢者や障がいのある方の日常生活に対する支援を行うこと	32	317
若年層や子どもたちの地域活動に対する育成を行うこと	56	360
町内会や自治会の活動への参加を増やすこと	30	358
地域で活動する様々な団体と交流・協力すること	30	230
福祉に関する情報を地域で共有すること	35	332
未回答	1	52
合計	243	2,199



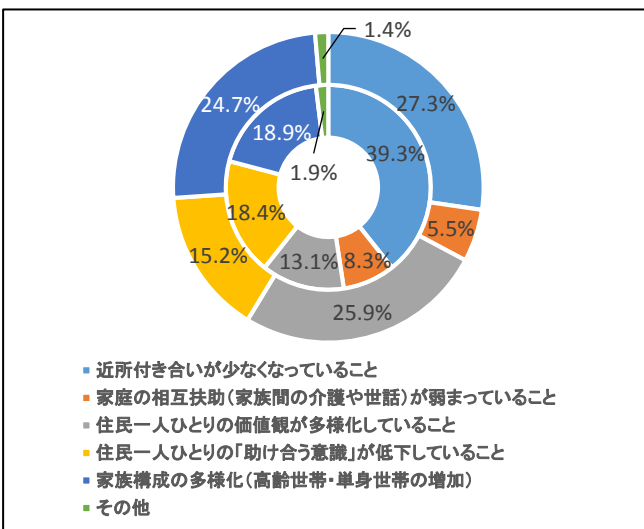
⑬地域住民同士が助け合う地域づくりを進めるために、あなたはどのようなことができますか。（あてはまるものすべてに○）

	次世代	全域
地域住民同士のふれ合う機会を増やすこと	40	451
高齢者や障がいのある方の日常生活に対する支援を行うこと	22	213
若年層や子どもたちの地域活動に対する育成を行うこと	32	197
町内会や自治会の活動への参加を増やすこと	40	401
地域で活動する様々な団体と交流・協力すること	34	231
福祉に関する情報を地域で共有すること	22	299
未回答	2	105
合計	192	1,897



⑭地域住民同士が助け合える地域づくりの課題となることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

	次世代	全域
近所付き合いが少なくなっていること	81	620
家庭の相互扶助（家族間の介護や世話）が弱まっていること	17	124
住民一人ひとりの価値観が多様化していること	27	588
住民一人ひとりの「助け合う意識」が低下していること	38	345
家族構成の多様化（高齢世帯・単身世帯の増加）	39	561
その他	4	31
合計	206	2,269

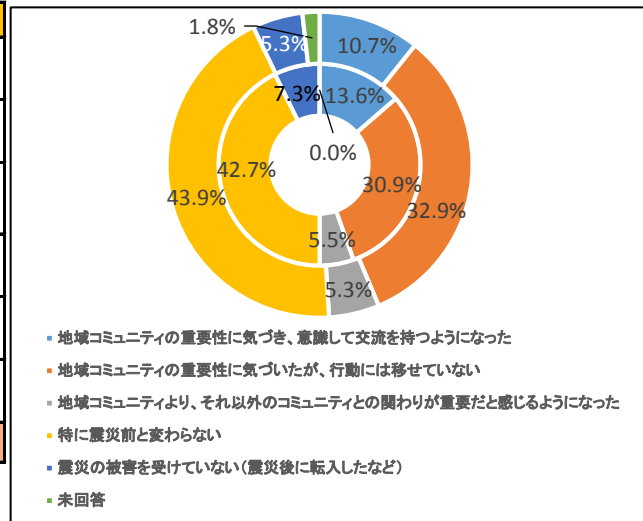


資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

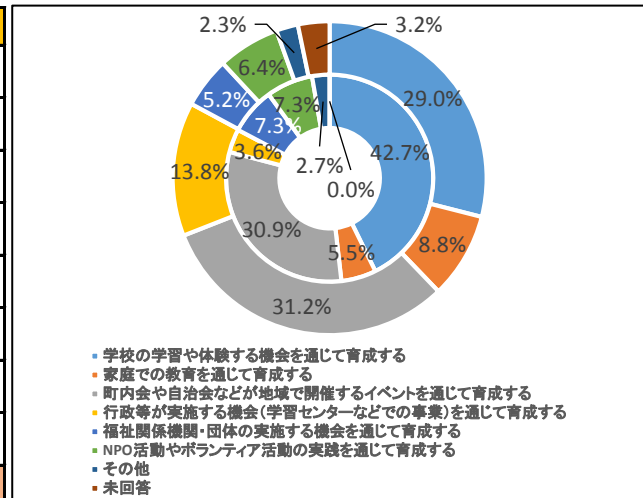
⑮東日本大震災を経験したことで日常の近所付き合いに対する考え方に変化はありましたか。
（○は1つだけ）

	次世代	全域
地域コミュニティの重要性に気づき、意識して交流を持つようになった	15	119
地域コミュニティの重要性に気づいたが、行動には移せていない	34	365
地域コミュニティより、それ以外のコミュニティとの関わりが重要だと感じるようになった	6	59
特に震災前と変わらない	47	486
震災の被害を受けていない（震災後に転入したなど）	8	59
未回答	0	20
合計	110	1,108



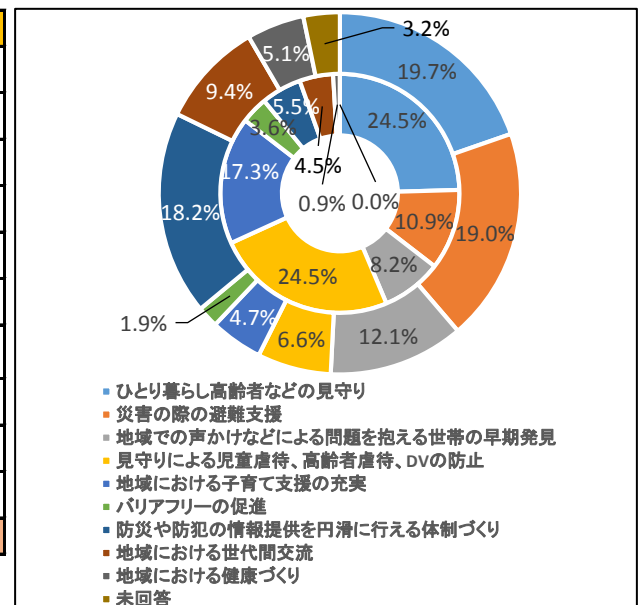
⑯地域活動に参加する人材を育てるにはどのようなことが有効だと思いますか。
（○は1つだけ）

	次世代	全域
学校の学習や体験する機会を通じて育成する	47	321
家庭での教育を通じて育成する	6	98
町内会や自治会などが地域で開催するイベントを通じて育成する	34	346
行政等が実施する機会（学習センターなどでの事業）を通じて育成する	4	153
福祉関係機関・団体の実施する機会を通じて育成する	8	58
NPO活動やボランティア活動の実践を通じて育成する	8	71
その他	3	25
未回答	0	36
合計	110	1,108



⑰地域住民と行政が積極的に連携することで改善が図れると思うのはどのようなことだと思いますか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
ひとり暮らし高齢者などの見守り	27	218
災害の際の避難支援	12	211
地域での声かけなどによる問題を抱える世帯の早期発見	9	134
見守りによる児童虐待、高齢者虐待、DVの防止	27	73
地域における子育て支援の充実	19	52
バリアフリーの促進	4	21
防災や防犯の情報提供を円滑に行える体制づくり	6	202
地域における世代間交流	5	104
地域における健康づくり	1	57
未回答	0	36
合計	110	1,108

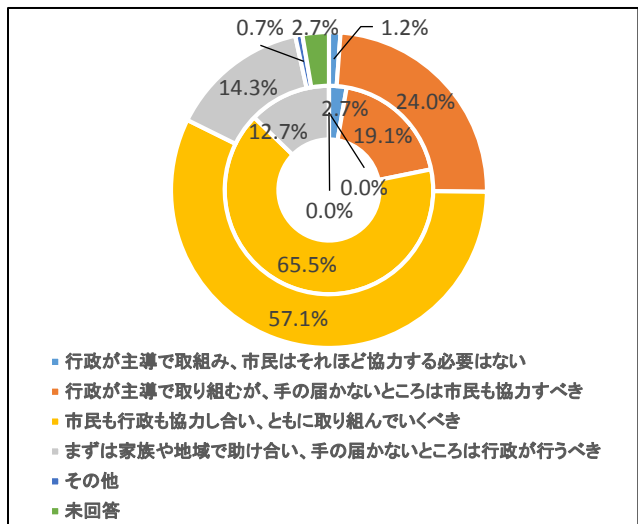


資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

⑱それぞれの地域で福祉活動を推進していくうえで、市民と行政との関係はどうあるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
行政が主導で取り組み、市民はそれほど協力する必要はない	3	13
行政が主導で取り組むが、手の届かないところは市民も協力すべき	21	266
市民も行政も協力し合い、ともに取り組んでいくべき	72	633
まずは家族や地域で助け合い、手の届かないところは行政が行うべき	14	158
その他	0	8
未回答	0	30
合計	110	1,108

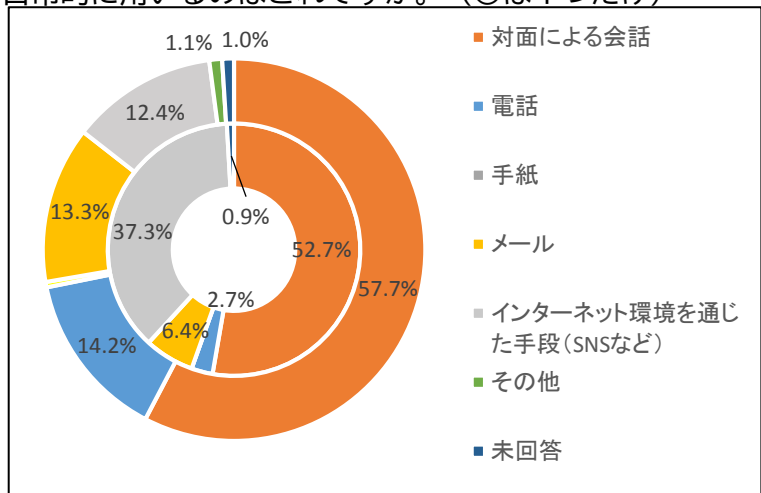


⑲これからの行政が福祉政策を進めるために、最も優先して取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。（○は1つだけ）

	次世代	構成比(%)	全域	構成比(%)
身近に相談できる窓口の充実	16	14.5%	363	32.8%
地域住民同士が助け合い、支え合うことができる仕組みづくり	31	28.2%	180	16.2%
地域福祉活動の中心を担う人材の育成・確保	10	9.1%	120	10.8%
地域福祉活動の拠点や環境づくり	9	8.2%	103	9.3%
地域福祉活動のネットワークづくり	11	10.0%	61	5.5%
福祉活動を行っているNPO法人やボランティア団体への資金面の支援	3	2.7%	39	3.5%
児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の充実	21	19.1%	63	5.7%
福祉に関する講習会や講演会などの開催	1	0.9%	25	2.3%
福祉に関する情報提供の充実	5	4.5%	82	7.4%
特に求めることはない	1	0.9%	28	2.5%
その他	2	1.8%	9	0.8%
未回答	0	0.0%	35	3.2%
合計	110	100.0%	1,108	100.0%

⑳人と交流するための手段として最も日常的に用いるのはどれですか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
対面による会話	58	639
電話	3	157
手紙	0	5
メール	7	147
インターネット環境を通じた手段（SNSなど）	41	137
その他	0	12
未回答	1	11
合計	110	1,108



資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

②福祉サービスに関する情報をどこで入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

	次世代	構成比(%)	全域	構成比(%)
市政だよりなどの福島市の広報紙	32	15.0%	775	27.7%
福島市のホームページ	25	11.7%	169	6.1%
福祉関係機関・団体の広報紙やホームページ	9	4.2%	73	2.6%
インターネット情報（上記のホームページ以外）	32	15.0%	132	4.7%
行政機関の窓口（市役所や支所など）	3	1.4%	132	4.7%
福祉関係機関などの窓口 （地域包括支援センター、子育て支援センターなど）	2	0.9%	84	3.0%
福島市社会福祉協議会	4	1.9%	26	0.9%
民生委員・児童委員	0	0.0%	57	2.0%
介護ヘルパー、ケアマネージャー	3	1.4%	118	4.2%
かかりつけの病院、主治医	4	1.9%	113	4.0%
町内会、自治会の回覧板	19	8.9%	348	12.5%
新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	26	12.1%	358	12.8%
家族、知人、友人	30	14.0%	243	8.7%
どこで入手してよいかわからない	13	6.1%	86	3.1%
今は情報を必要としていない	12	5.6%	69	2.5%
未回答	0	0.0%	10	0.4%
合計	214	100.0%	2,793	100.0%

②日常生活の困りごとを誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

	次世代	構成比(%)	全域	構成比(%)
同居している家族	56	30.8%	703	29.6%
同居していない家族	24	13.2%	358	15.1%
親戚	5	2.7%	177	7.4%
知人、友人、職場の人	73	40.1%	452	19.0%
近所の人、町内会の役員	0	0.0%	130	5.5%
行政機関の相談窓口（市役所や支所など）	1	0.5%	79	3.3%
福島市社会福祉協議会	1	0.5%	5	0.2%
福祉関係機関などの相談窓口 （地域包括支援センターや子育て支援センターなど）	0	0.0%	37	1.6%
民生委員・児童委員	0	0.0%	26	1.1%
介護ヘルパー、ケアマネージャー	0	0.0%	75	3.2%
かかりつけの病院、主治医	2	1.1%	125	5.3%
NPO法人	0	0.0%	1	0.0%
相談できる人がいない	2	1.1%	45	1.9%
今は困りごとがない	11	6.0%	131	5.5%
その他	7	3.8%	17	0.7%
未回答	0	0.0%	16	0.7%
合計	182	100.0%	2377	100.0%

資料編

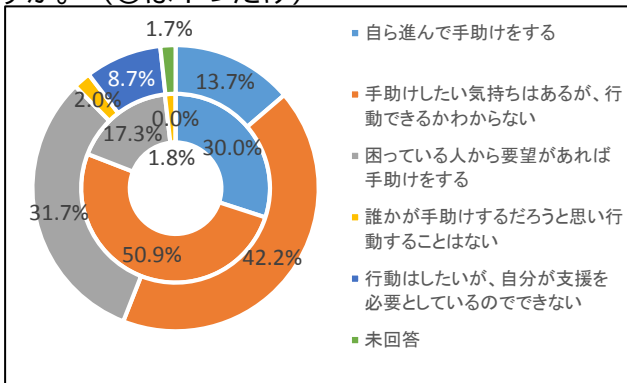
市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

② 次の公的相談窓口を知っていますか。（知っているものすべてに○）

	次世代	構成比(%)	全域	構成比(%)
生活相談支援窓口	56	18.4%	375	16.6%
地域包括支援センター	56	18.4%	654	28.9%
権利擁護センター	7	2.3%	57	2.5%
ふくしま基幹相談支援センター	5	1.6%	25	1.1%
福島市社会福祉協議会指定相談支援事業所	11	3.6%	110	4.9%
清心荘指定相談センター	4	1.3%	24	1.1%
相談支援センターひびき	9	3.0%	28	1.2%
こじか「子どもの家」発達支援センター	10	3.3%	72	3.2%
ふくしま虐待防止センター	22	7.2%	44	1.9%
子育て相談センター・えがお	21	6.9%	121	5.3%
地域子育て支援センター	26	8.5%	158	7.0%
こども発達支援センター	8	2.6%	56	2.5%
すこやかテレホン	13	4.3%	96	4.2%
家庭児童相談室	12	3.9%	98	4.3%
ひとり親家庭福祉貸付相談	3	1.0%	25	1.1%
保護者相談窓口	9	3.0%	20	0.9%
保育士相談窓口	10	3.3%	14	0.6%
保育人材バンク	13	4.3%	21	0.9%
未回答	10	3.3%	264	11.7%
合計	305	100.0%	2262	100.0%

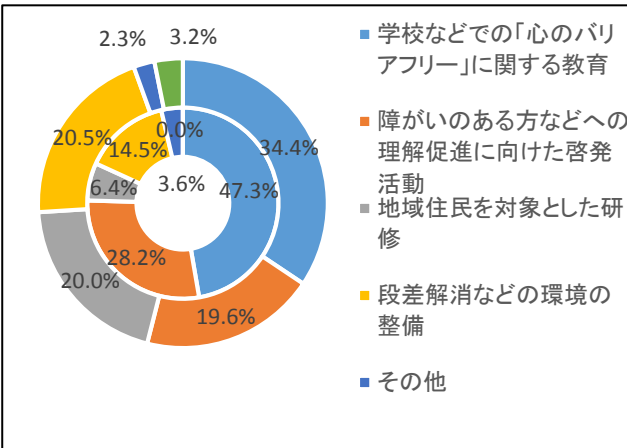
④ 高齢者や障がいのある方、小さな子どもをもつ親などの支援が必要な方が日常生活で困っているとき、手助けなどの行動をとれますか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
自ら進んで手助けをする	33	152
手助けしたい気持ちはあるが、行動できるかわからない	56	468
困っている人から要望があれば手助けをする	19	351
誰かが手助けするだろうと思い行動することはない	2	22
行動はしたいが、自分が支援を必要としているのでできない	0	96
未回答	0	19
合計	110	1,108



⑤ 「誰にでもやさしいまちづくり」を進めるために効果的な取組みはどれだと思いますか。（○は1つだけ）

	次世代	全域
学校などでの「心のバリアフリー」に関する教育	52	381
障がいのある方などへの理解促進に向けた啓発活動	31	217
地域住民を対象とした研修	7	222
段差解消などの環境の整備	16	227
その他	4	26
未回答	0	35
合計	110	1,108



資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

②お住まいの地域で抱えている地域課題はありますか。（あてはまるものすべてに○）

	次世代	構成比(%)	全域	構成比(%)
居場所づくり（高齢者、障がい者、子ども）	24	8.0%	181	6.1%
高齢者世帯の安否確認や見守り	35	11.6%	324	11.0%
災害が発生した際の安否確認や避難誘導	31	10.3%	427	14.4%
障がい者が地域で自立して生活するための支援	10	3.3%	90	3.0%
障がい者に対する地域の理解、交流の促進	13	4.3%	105	3.6%
健康寿命を延ばすための健康づくりへの取り組み	6	2.0%	164	5.5%
働きながら子どもを育てることができる環境の整備	26	8.6%	212	7.2%
子どもの教育や将来のことを相談できる環境の整備	15	5.0%	101	3.4%
高齢者、障がい者、子どもへの虐待を防止する取り組み	13	4.3%	84	2.8%
孤独死の防止	19	6.3%	169	5.7%
ひきこもり問題への支援	13	4.3%	113	3.8%
犯罪や非行の防止	11	3.7%	83	2.8%
仕事に就けない人への就労支援	8	2.7%	108	3.7%
生活困窮世帯への支援	13	4.3%	87	2.9%
認知症高齢者への支援	14	4.7%	186	6.3%
買い物や通院の際の交通手段の不足	24	8.0%	272	9.2%
その他	7	2.3%	70	2.4%
特に課題となっていることはない	18	6.0%	161	5.4%
未回答	1	0.3%	20	0.7%
合計	301	100.0%	2957	100.0%

③健康で充実した生活を営むために必要だと思うことはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

	次世代	構成比(%)	全域	構成比(%)
適度な運動習慣	90	16.7%	902	17.5%
適切な食事習慣（回数・栄養）	77	14.3%	777	15.0%
家族との日常的な関わり	70	13.0%	591	11.4%
友人との関わり	71	13.1%	521	10.1%
充実した趣味や余暇	69	12.8%	689	13.3%
地域活動を通じた社会参加	33	6.1%	317	6.1%
仕事を通じた社会参加	23	4.3%	204	4.0%
行政の支援や積極的な関わり	21	3.9%	232	4.5%
医療環境の充実	53	9.8%	485	9.4%
介護サービスの充実	30	5.6%	399	7.7%
その他	2	0.4%	26	0.5%
未回答	1	0.2%	20	0.4%
合計	540	100.0%	5163	100.0%

資料編

市民アンケートの取りまとめ（学生含む）

⑳ 次の福祉制度や事業を知っていますか。（知っているものすべてに○）

	次世代	構成比(%)	全域	構成比(%)
民生委員・児童委員制度	843	19.3%	52	8.8%
地域サロン活動支援事業	160	3.7%	19	3.2%
福島市社会福祉基金運用事業	168	3.9%	7	1.2%
生活保護制度	805	18.5%	77	13.0%
生活困窮者自立相談支援事業	104	2.4%	35	5.9%
生活困窮者住居確保給付金	48	1.1%	12	2.0%
子どもの学習・生活支援事業（こどもサポート未来塾）	146	3.3%	27	4.5%
家計改善支援事業	6	0.1%	5	0.8%
いきいきももりん体操	303	7.0%	22	3.7%
福島市暮らしの中の支え合いお宝発表会	5	0.1%	4	0.7%
認知症カフェ	141	3.2%	40	6.7%
認知症サポーター養成講座	179	4.1%	26	4.4%
認知症高齢者QRコード活用見守り事業	65	1.5%	9	1.5%
認知症初期集中支援チーム	33	0.8%	5	0.8%
認知症ガイドブック（認知症ケアパス）	72	1.7%	18	3.0%
ふくふくオレンジフェスタ	35	0.8%	31	5.2%
認知症高齢者徘徊模擬訓練	39	0.9%	4	0.7%
介護マーク	104	2.4%	23	3.9%
在宅医療介護連携推進事業	68	1.6%	13	2.2%
成年後見制度	355	8.1%	37	6.2%
いきいき！ふくしマーケット	68	1.6%	4	0.7%
ヘルプマーク	126	2.9%	29	4.9%
福島市手話出前講座	54	1.2%	10	1.7%
産後ケア事業	53	1.2%	16	2.7%
ファミリーサポート事業	172	3.9%	30	5.1%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	56	1.3%	11	1.9%
保育士等奨学資金貸付事業	47	1.1%	23	3.9%
未回答	104	2.4%	5	0.8%
合計	4,359	100.0%	594	100.0%